

池辺地区住民アンケート 結果概要

1. 目的

養老町では現在、町内の公共交通を多くの方にご利用いただいております。今後も自動車を運転できない高齢者や子供などの生活交通手段として、公共交通の確保・維持に対する必要性は高まっています。特に、池辺地区においては、オンデマンドバスの利用が多いことなどから、セミデマンド運行の実証実験を実施していました。

そうした中で、池辺地区の皆さまの日常的な移動実態を把握するとともに、池辺地区における地域公共交通の役割や、公共交通の利用が可能となる条件などを把握することを目的として、池辺地区にお住まいの方を対象にアンケート調査を実施しました。

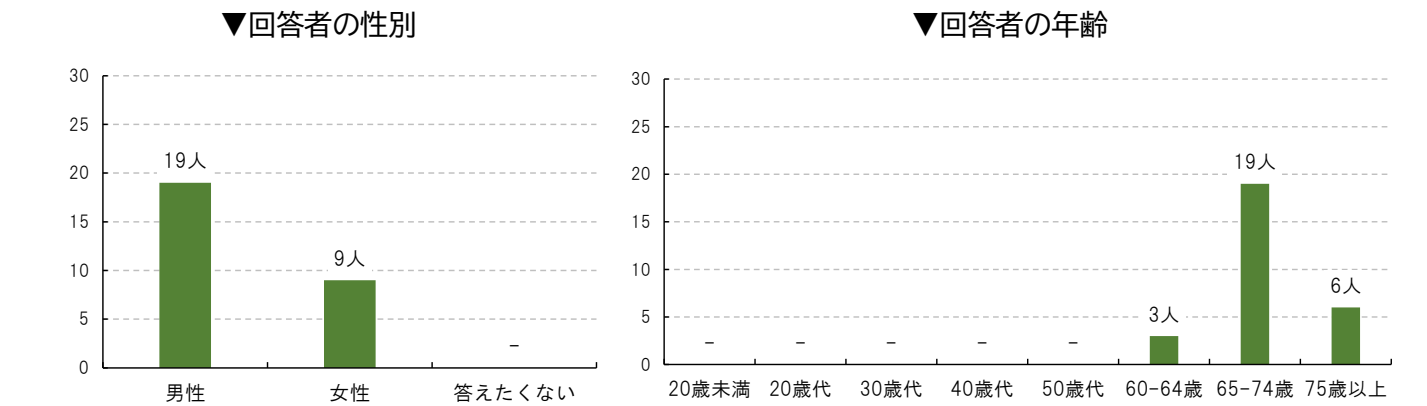
2. 調査概要

【配布数・回収数】
調査票配布数…32 票
回収数…28 票
回収率…87.5%

【実施方法】
方法…養老町職員が対象者に対して手渡し配布、郵送回収

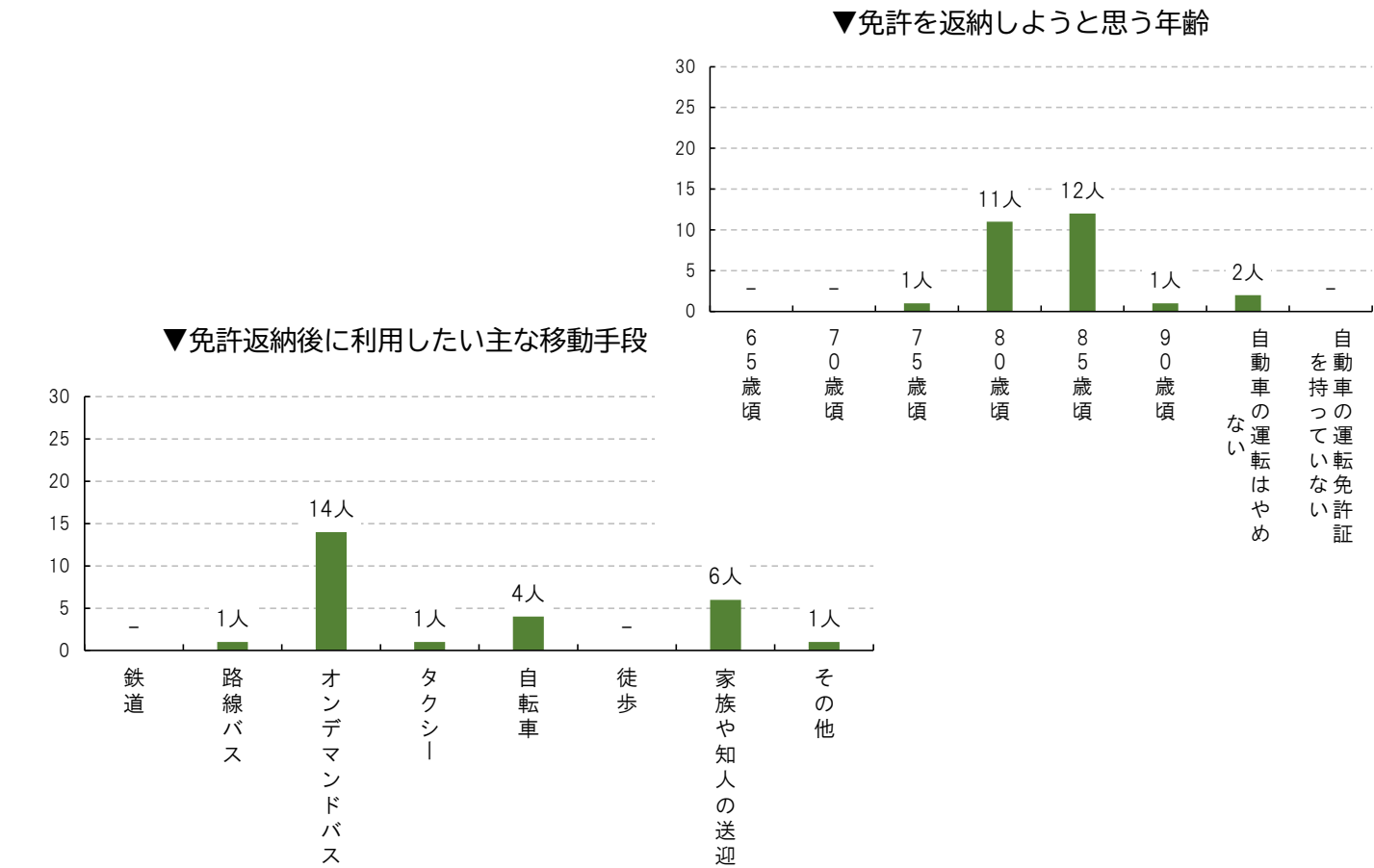
3. 結果概要

①回答者の性別・年齢



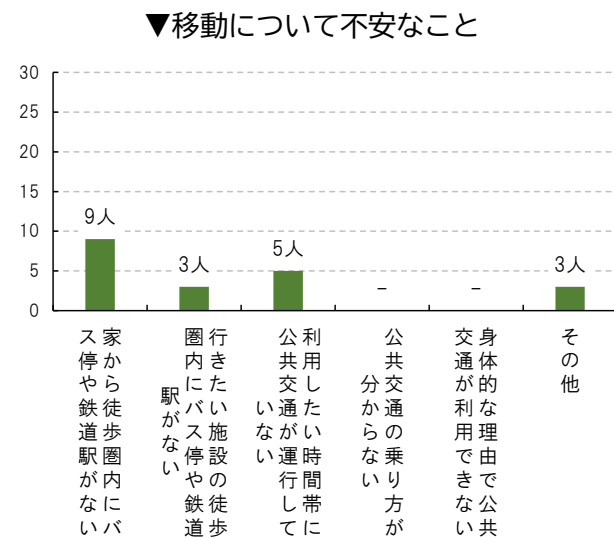
②回答者の性別・年齢

■80歳～85歳頃に免許返納の意向がある方が多く、その後に利用したい移動手段としては「オンデマンドバス」が14人と最も多くなっており、期待されていることが分かります。



③現在または近い将来（今後5年以内）に、移動について不安なこと

■移動について不安なこととして、「家から徒歩圏内にバス停や鉄道駅がない」が9人、「利用したい時間帯に公共交通が運行していない」が5人となっています。

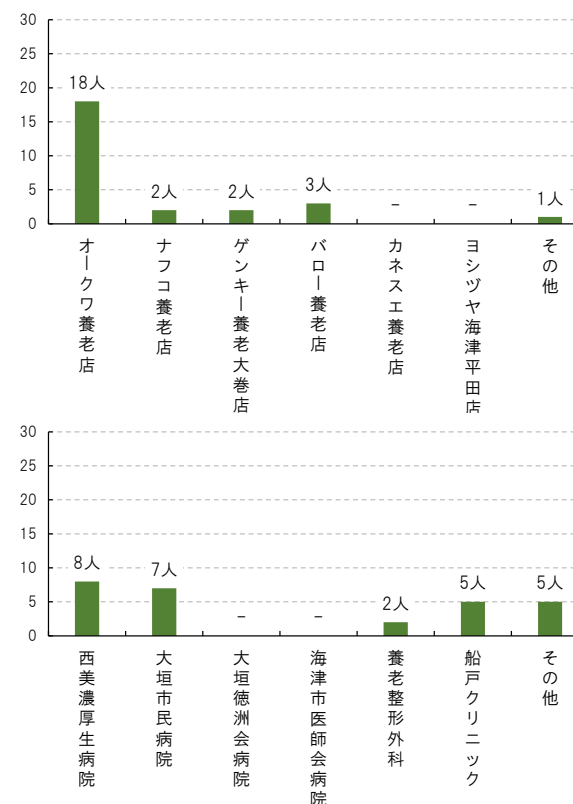


④主な外出先と移動手段（買い物・通院）

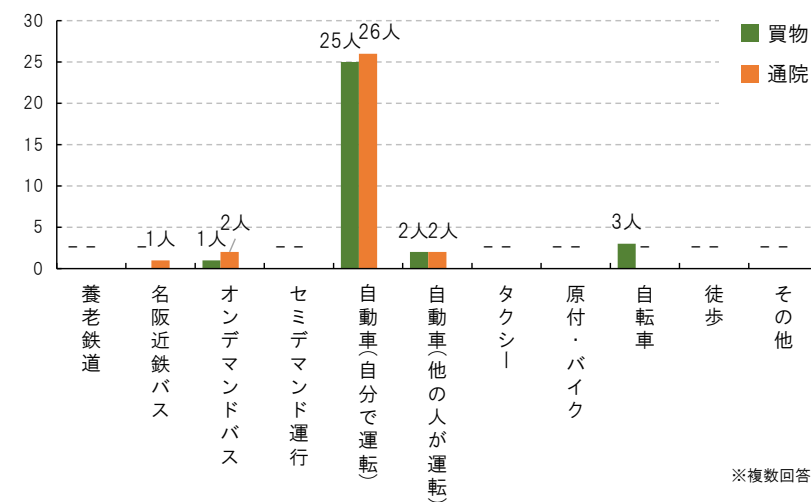
■主な外出先について、買い物では池辺地区内の「オークワ養老店」が18人と最も多く、他も養老町内の回答が多いですが、通院では養老町内の「西美濃厚生病院」が8人と最も多く、次いで「大垣市民病院」が7人となっており、通院では移動範囲が広がっていることが分かります。

■移動手段について、多くは「自動車(自分で運転)」(買い物:25人、通院:26人)ですが、身近な場所への買い物では「自転車」(3人)、大垣市へ行く方も多い通院では「名阪近鉄バス」(1人)、またどちらの目的とも「オンデマンドバス」(買い物:1人、通院:2人)の回答があります。

▼主な外出先（上段：買い物、下段：通院）



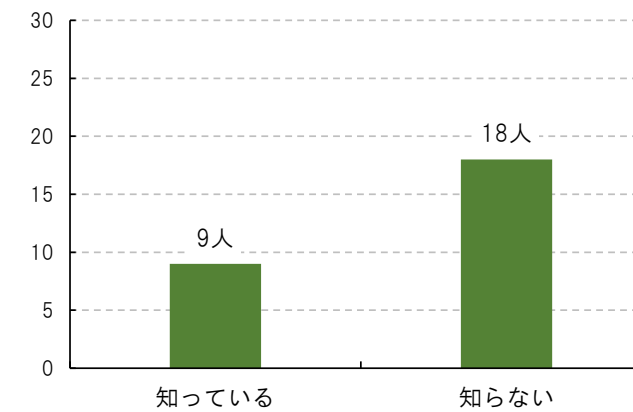
▼外出先への移動手段



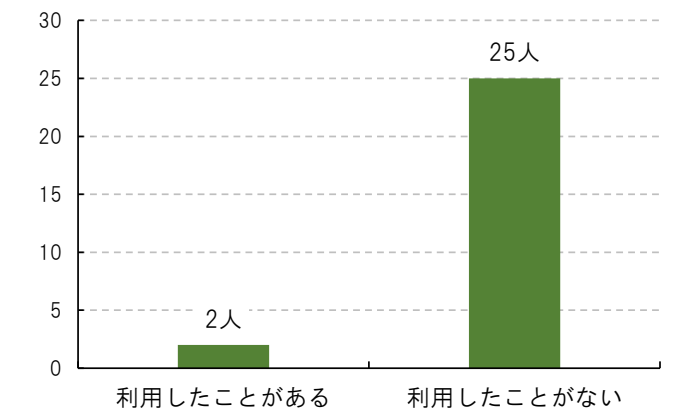
⑤オンデマンドバスの「セミデマンド運行」について

■オンデマンドバスの「セミデマンド運行」について、「利用方法を知っている」人は9人で、「利用したことがある」人は2人となりました。

▼セミデマンド運行の利用方法



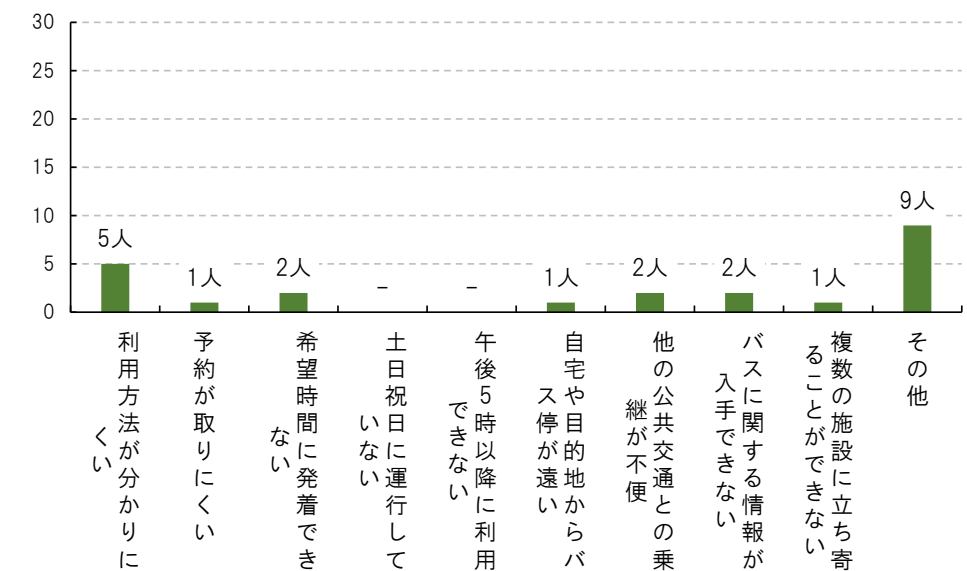
▼セミデマンド運行の利用経験



⑥オンデマンドバスを利用しない理由や不便を感じる点について

■不便を感じる点として「利用方法が分かりにくい」(5人)、「希望時間に発着できない」(2人)、「他の公共交通との乗継が不便」(2人)、「バスに関する情報が入手できない」(2人)といった項目に対して、複数人の回答がありました。

▼オンデマンドバスを利用しない理由や不便を感じる点



<「その他」の意見>

- ・自分の車があるため、今は利用していない（8人）
- ・利用したことがないからわからない（1人）

⑦名阪近鉄バスとオンデマンドバスの連携について

■「バスルートの変更」や「スムーズな乗り継ぎ」、「バス停の増設」、「車両ラッピング」といったアイデアや意見がありました。

▼名阪近鉄バスとオンデマンドバスの連携などのアイデア

No.	アイデア・意見など
1	名阪近鉄バスのルート変更（船付－R258号－オークワ－今尾橋）
2	オンデマンドバスとの乗継券や、スムーズな乗り継ぎ
3	バス停の増設とオンデマンドバスの運行区域の拡大（海津市・輪之内町）
4	バスの色を独特で目立つ・可愛いものにする

⑧自由意見（抜粋）

▼公共交通の利便性を高めるアイデア

No.	アイデア・意見など
1	大垣市との交通(自家用車以外)が便利になると良い(特に駅、病院、ショッピングセンター)。
2	公共施設で生涯学習講座は沢山あり、将来の為に健康維持の為に必要ですが、車に乗れなくなった高齢者がオンデマンドバスで集まって、軽運動やゲーム等を無料で出来ると良いかなと思う。
3	町内に道の駅を設置してほしい(JA とタイアップしてファーマーズを店内に入れる)。
4	コスト的に問題ありますが、地区ごとに曜日を設定して定期バスを運行すると使用者はいると思う。(しかし、人件費と燃料の問題が発生する)
5	オンデマンドバスの利用には登録が必須。これでは緊急時に利用したいと思っても利用できません。民間の路線バスと同じようにいつでも誰もが自由に利用できるようなには出来ませんか。
6	もし車が乗れなくなったら、公共の施設やスーパー等にも止まり、30分なり1時間なり間隔で運行している定期バスがあると、思いつきで乗る事が出来るため、ありがたく思います。
7	80歳以上の方であればタクシー運賃の半額くらいで買い物や病院へ直に行く事が出来たらいいですね。
8	運行時間と運行ルートをより自由に設定できるタクシーが良い。

<アンケート調査結果 まとめ>

■80歳～85歳頃には免許返納の意向があり、免許返納後にはオンデマンドバスを利用したいと考えています。

■現状の主な外出先への移動でオンデマンドバスを利用している人は28人中2人であり、オンデマンドバスを利用しない理由として「自分の車を運転できる」ことや、「利用方法が分かりにくい」ことが挙げられています。

■公共交通の利便性を高めるアイデアとして、路線バスのルート変更やスムーズな乗り継ぎ、町内施設での学習講座との連携、だれでも自由に乗れるシステムの導入などが挙げられました。



●公共交通に関する情報発信の強化（出前講座、分かりやすいパンフレットの配布 等）

●公共交通に乗車する“きっかけ”作りの展開（乗り方教室、レクリエーション活動 等）

●他の公共交通との連携の強化（乗り継ぎにかかる時間・料金抵抗の軽減 等）